

基本方針（案）

室長 渋谷 裕一

我々が人間である限り、必ず食事を摂らなければなりません。それは同時に、肉であれば動物の、野菜であれば植物の命をいただく事でもあります。自然界の中で、人間は他の生物に生かされている事実を、再認識しなければなりません。現在、子供たちを取り巻く環境は日々急激に変化し、食についても様々な問題が取りざたされています。もう一度食の大切さを考え、行動に移さなければなりません。

平成 17 年に食育基本法が制定され、各学校でも食育は行われています。その多くは農業体験です。農業は、時に人間社会に猛威を振るう自然との共存をしなければ成り立ちません。そして一粒の米、一本の野菜にどれほどの人の手と苦勞が係わっているのかを認識すれば、食べ物を無駄に出来なくなる筈です。しかしながら、いつでも手に入る食べ物が誰の手によって何処からどんな経緯を経て存在するのか。それらを知識として何となく聞き及んでいる子ども達はいても、実際に理解している子ども達はどれ位いるでしょうか。社会の中で生きていく為には、自分一人では何もできません。人と人との繋がりで社会が形成される事、その為には道徳心を持ち、他人を思いやる心を持たなければならない事を、食べ物を通して同時に育てていきたいと思えます。また毎日の食事を取れる事への感謝や食事を作ってくれる人への感謝の気持ちも同時に育みたいと考えます。まずは我々メンバーが意識の向上をし、市民の皆様に心の底から意識変革を運動できるようにすることが大前提であると考えます。本気で取り組む気概を持ちましょう。

そうすることが、これからの地域の担い手の子どもたちが健全な心と身体を培い、未来や社会に希望の持てるまちづくりに繋がると考えます。それが地域教育の能動者たる我々 JAYCEE の使命であるからです。

基本的には 800 文字でまとめてください。

副理事長・議長・副議長・室長も同様です。